

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月6日
【四半期会計期間】	第93期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	旭有機材工業株式会社
【英訳名】	ASAHI ORGANIC CHEMICALS INDUSTRY CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤原 孝二
【本店の所在の場所】	宮城県延岡市中の瀬町二丁目5955番地 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記で行なっており ます。）
【電話番号】	-
【事務連絡者氏名】	-
【最寄りの連絡場所】	東京都港区浜松町二丁目4番1号
【電話番号】	東京 03（3578）6001
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 桑田 雅之
【縦覧に供する場所】	旭有機材工業株式会社東京本社 （東京都港区浜松町二丁目4番1号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第92期 第1四半期 連結累計期間	第93期 第1四半期 連結累計期間	第92期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (百万円)	7,910	7,439	32,167
経常利益 (百万円)	44	37	1,103
四半期純利益又は四半期(当期)純損失() (百万円)	38	20	2,598
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	56	234	1,860
純資産額 (百万円)	37,803	35,794	35,853
総資産額 (百万円)	49,672	47,297	47,469
1株当たり四半期純利益又は四半期(当期)純損失() (円)	0.39	0.20	26.60
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	76.1	75.1	75.0

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、管材システム事業において、旭有機販売(株)は平成25年4月1日付で旭有機販売西日本(株)を吸収合併し、商号を旭有機材商事(株)に変更しました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、アベノミクス効果による円安・株高が進み自動車などの輸出産業を中心に業績は回復基調にあります。一方で、ナフサ価格の上昇、円安の影響による原材料高などが続いており、また原発の再稼働問題など課題も多くいまだ予断を許さない状況にあります。このような中で、国内での設備投資は模様眺めの様相を呈しており、本格的な景気回復までにはまだ時間がかかるとみております。海外においては、アメリカでのシェールガスの本格利用に向けた投資が出てくるなど景気回復の兆しが出てきており、また世界的に停滞していた半導体投資も動き始めるなど順調な投資が期待できる状況にある一方で、中国のGDP成長率が低下するなど不安定な要素も見えつつあります。

このような状況の中、当社グループでは、国内需要の取り込みや海外での販路拡大など売り上げ確保に努めておりますが、国内設備投資が昨年に引き続き低調に推移している状況で、売上高が伸び悩みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,439百万円(前年同期比 5.9%)となり、営業損失は151百万円(前年同期の営業利益は45百万円)、経常利益は37百万円(前年同期比 15.2%)、四半期純損失は20百万円(前年同期の四半期純利益は38百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

管材システム事業

主力の配管材料は、国内設備投資減速の影響を受け西日本を中心に売上げが伸び悩みました。一方、海外は円安、アメリカ景気の上昇及び半導体投資の再開の影響を受けて好調に推移しておりますが、国内需要の減速をカバーするまでには至らず、対前年同期比マイナスとなりました。また、塩ビ原料の高止まりが解消されず、損益的にも厳しい状況となりました。

その結果、当セグメントの売上高は4,438百万円(前年同期比 11.6%)、営業損失は11百万円(前年同期の営業利益は107百万円)となりました。

樹脂事業

主力の鋳物用樹脂及びレジンコーテッドサンドは、国内においては建設機械の需要落ち込みが回復せずに売上げは伸び悩みましたが、海外においては旺盛な需要を取り込めたことで、全体としては売上げを伸ばしました。発泡材料及び建築資材用途工業用樹脂は消費税増税前の駆け込み需要を捉えたことにより、また、電子材料用樹脂はLED用途が好調であり、売上げを伸ばしました。しかしながら、主原料価格の高騰に加え、海外の販売における厳しい価格競争等により、収益面では厳しい状況で推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は3,001百万円(前年同期比 +3.9%)、営業損失は118百万円(前年同期の営業損失は51百万円)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産は47,297百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円減少しました。これは中国工場の増設等に伴う有形固定資産の増加がございましたが、受取手形及び売掛金などの減少によるものです。負債は11,503百万円となり、前連結会計年度末に比べ112百万円減少しました。これは未払金などのその他流動負債の減少によるものです。純資産は35,794百万円となり、前連結会計期間年度末に比べ60百万円減少しました。これは為替換算調整勘定の増加よりも、四半期純損失と支払配当金による減少が上回ったためです。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発活動の総額は281百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	199,000,000
計	199,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行(株) (平成25年8月6日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	99,002,000	99,002,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数:1,000株
計	99,002,000	99,002,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年6月30日	-	99,002	-	5,000	-	8,479

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,258,000	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 223,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 97,052,000	97,052	-
単元未満株式	普通株式 469,000	-	-
発行済株式総数	99,002,000	-	-
総株主の議決権	-	97,052	-

(注) 1 証券保管振替機構名義等の失念株式はありません。

2 「単元未満株式数」には、相互保有株式〔旭エー・ブイ産業(株)保有〕983株及び自己株式387株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 旭有機材工業(株)	宮崎県延岡市中の瀬町 二丁目5955番地	1,258,000	-	1,258,000	1.3
(相互保有株式) 旭エー・ブイ産業(株)	東京都千代田区神田司町二 丁目2番12号	168,000	55,000	223,000	0.2
計	-	1,426,000	55,000	1,481,000	1.5

(注) 旭エー・ブイ産業(株)は、当社の取引先会社で構成される持株会(旭有機材代理店持株会 東京都港区浜松町二丁目4番1号)に加入しており、当持株会名義で当社株式を所有しております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,074	7,058
受取手形及び売掛金	2 12,191	2 11,445
たな卸資産	7,113	7,229
その他	401	645
貸倒引当金	22	15
流動資産合計	26,757	26,363
固定資産		
有形固定資産	14,061	14,329
土地	5,851	5,861
その他(純額)	8,209	8,468
無形固定資産	246	240
投資その他の資産		
投資有価証券	4,761	4,750
その他	1,667	1,638
貸倒引当金	22	22
投資その他の資産合計	6,405	6,365
固定資産合計	20,712	20,934
資産合計	47,469	47,297
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 6,308	2 6,311
短期借入金	43	47
未払法人税等	92	41
引当金	-	324
その他	1,938	1,646
流動負債合計	8,382	8,370
固定負債		
退職給付引当金	1,391	1,413
役員退職慰労引当金	219	115
その他	1,624	1,605
固定負債合計	3,234	3,134
負債合計	11,616	11,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	8,479	8,479
利益剰余金	22,556	22,243
自己株式	558	558
株主資本合計	35,477	35,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	319	287
為替換算調整勘定	201	82
その他の包括利益累計額合計	118	369
少数株主持分	258	261
純資産合計	35,853	35,794
負債純資産合計	47,469	47,297

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	7,910	7,439
売上原価	5,630	5,266
売上総利益	2,280	2,173
販売費及び一般管理費	2,234	2,325
営業利益又は営業損失()	45	151
営業外収益		
受取利息	2	13
受取配当金	18	22
持分法による投資利益	16	12
複合金融商品評価益	-	44
為替差益	-	88
その他	12	15
営業外収益合計	48	195
営業外費用		
支払利息	1	1
売上割引	2	3
有価証券償還損	9	2
複合金融商品評価損	16	-
為替差損	18	-
その他	4	1
営業外費用合計	49	6
経常利益	44	37
特別利益		
固定資産売却益	-	1
特別利益合計	-	1
特別損失		
固定資産除却損	15	0
特別損失合計	15	0
税金等調整前四半期純利益	28	38
法人税等	10	55
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	38	17
少数株主利益	-	3
四半期純利益又は四半期純損失()	38	20

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	38	17
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	139	33
為替換算調整勘定	159	283
持分法適用会社に対する持分相当額	3	1
その他の包括利益合計	17	251
四半期包括利益	56	234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56	231
少数株主に係る四半期包括利益	-	3

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

主として当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	112百万円	81百万円

2. 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	988百万円	817百万円
支払手形	203	273

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	298百万円	331百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	293	3.00	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	293	3.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
 末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結財 務諸表計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,020	2,889	7,910	-	7,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	5,020	2,889	7,910	-	7,910
セグメント利益又は損失() (営業利益又は損失())	107	51	55	10	45

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用(主に報告セグメントに帰属
 しない基礎研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額)であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結財 務諸表計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,438	3,001	7,439	-	7,439
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,438	3,001	7,439	-	7,439
セグメント利益又は損失() (営業利益又は損失())	11	118	129	22	151

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用(主に報告セグメントに帰属
 しない基礎研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額)であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は四半期純損失及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益又は四半期純損失()	0.39円	0.20円
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()(百万円)	38	20
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 ()(百万円)	38	20
普通株式の期中平均株式数(千株)	97,668	97,663

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月5日

旭有機材工業株式会社
取締役会御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 大塚 啓一
業務執行社員

指定社員 公認会計士 加藤 真美
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている旭有機材工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、旭有機材工業株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。